

[T i m e R e l e a s e]

Simon Whetham - Kiyoharu Kuwayama



Simon Whetham
<http://www.simonwhetham.co.uk/>



Kiyoharu Kuwayama
<http://www.lthe-voice.com/kk/>

8月26日【日】 午後 1:00 ~ 1:30

豊田市美術館内 1階講堂

世界各国を旅しながら作品発表を行っている英国の音響作家 / デザイナー サイモン・ウェタム と
特殊な音環境での演奏 - 録音 - 作品制作を主に活動する桑山清晴 による共同プロジェクト。
作家は 3 日間、豊田市美術館内、或は近郊にてフィールド・レコーディングを行い、それらの素材を用いて作曲。
26 日のイベントにてライブ・ミックスを発表します。

※ 入場には企画展『カルペ・ディエム - 花として今日を生きる Carpe Diem. Seize the Days 』の観覧券が必要です。

<http://www.museum.toyota.aichi.jp/>



Toyota
Municipal
Museum
of Art

豊田市美術館

Simon Whetham

<http://www.simonwhetham.co.uk/>

サイモン・ウェタムは、2005年にアイスランドでのリサーチに参加して以来、おもにフィールド・レコーディングで音源を採集し、作曲してきました。アイスランドではじめての音響作品の展示から着実に注目を集めてきたウェタムは、2010年にはマモリ・サウンド・プロジェクトにおけるアマゾンの熱帯雨林でのレコーディング、ニューヨークでのエクスペリメンタル・インターメディア、ポルトガルのマテイラディグなど国内外でのフェスティバルやイベントでのパフォーマンスをおこない、いくつものレーベルから音源を発表しています。

こうした発表のほかにも、クリエイティブ・ラボ社の製品発表の音響や、画家キャスリン・トーマスの展覧会のサウンドトラックなども制作しています。2011年には、メールス・フェスティバル（ドイツ）、オブゼルバトリ・フェスティバル（スペイン）などのイベントやプロジェクトに参加しました。また、コロムビア国立大学とマテイラディグ・フェスティバルではフィールド・レコーディングのワークショップを実施しました。

2012年は、世界中を旅をして周り、訪れた国々でレジデンスに参加、さまざまな音楽家や芸術家と交流しながらパフォーマンスやレコーディングを行っています。また、「アクティブ・クロスオーバー」のプロジェクトでもレジデンスやパフォーマンスを継続しています。



桑山清晴

<http://www.lethe-voice.com/kk/>

80年代後半より廃物、非楽器による音の制作を開始、同時に音楽制作のための習作としてビジュアル作品の制作も行う。1999年から2003年まで名古屋港20号倉庫にて音楽、映像、パフォーマンス、サウンド・インスタレーションを主体とした"Lethe. Voice Festival"を主催。

"Lethe"名義でのソロでは、空き倉庫、地下シェルター、発電所の廃墟などヨーロッパ各地で録音した素材を編集加工し"Catastrophe Point"シリーズとして発表。

2001年 Media Select (名古屋港20号倉庫)

2002年 International Symposium on Electronic Arts (ISEA)

2002年 Exhibition "Leif Elggren" / Kuwayama Kiyoharu / brent gutzeit (chicago, USA)

2006年 Instal 06 Festival / (Glasgow, Scotland)

2006年 FO A RM FESTIVAL OF SOUND & VIDEO (portland USA)

2006年 長野県辰野美術館にてサウンド・ワークショップ

2012年 GHOSTS OF PUBLIC SPACES / ACTIONS! Festival (Montreal Canada)

